

見附駅周辺地区

(新潟県見附市)

- 計画期間 平成25年度～平成29年度
- 面積 63.0ha
- 交付対象事業費 1,799.8百万円
- 市人口 40,711人 (地区内人口約2,300人)

ポイント

緑豊かで特色のある見附らしい住宅地の整備

地区概要

交通結節点であり交流拠点でもある見附駅前広場を整備するとともに、駅周辺の柳橋地区に緑豊かで災害に強く特色のある見附らしい住宅地を整備することで、住みよい生活空間の形成と定住促進を図る。

目標

緑豊かで住みよい生活空間の整備と特色のある住環境の形成による定住の促進

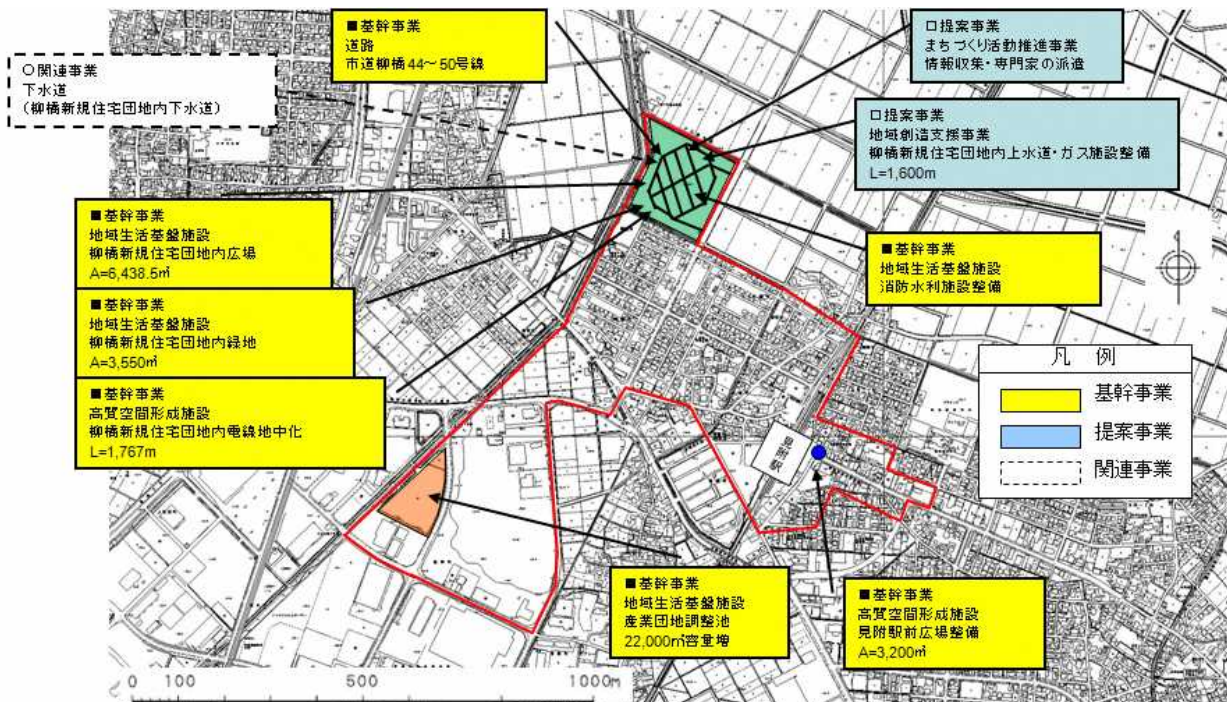
指標

新たに特色のある魅力的な住宅地を整備することでどれだけ定住を促進できたかを測る柳橋住宅地内新規着工建築物数、緑地等の整備によりどれだけ緑豊かで住みよい生活空間が形成されたかを測る市民アンケートの満足度を指標に設定する。

指標	従前値	目標値	実測値
柳橋住宅地内新規着工建築物数	0軒 (H24)	10軒 (H30)	評価中 (H30)
市民アンケートの満足度	62.0% (H24)	63.0% (H30)	評価中 (H30)

事業内容

- 基幹事業 (1,661.6百万円) → 道路 (7路線)、地域生活基盤施設 (緑地、広場、産業団地調整池、消防水利施設)、高質空間形成施設 (無電柱化、照明施設、見附駅前広場)
- 提案事業 (138.2百万円) → 地域創造支援事業 (上水道・ガス施設整備)、まちづくり活動推進事業 (情報収集・専門家の派遣)



地区の現況と課題

見附駅周辺地区は、見附駅や国道8号への良好なアクセス性を背景に近年人口・世帯数ともに増加傾向にある地域であり、今後も市街化が見込まれる地区である。平成23年12月27日には、区域内の4.5haの区域（柳橋地区）を市街化区域に編入し、緑豊かで良好な住宅地の形成を趣旨とする地区計画も策定した。

本計画においては、柳橋地区に見附らしい特色のある魅力的な住環境を形成することを目指している。



▲住宅地（整備前）

提案事業の特徴

上水道・ガス施設整備

交通利便性の高い柳橋地区を良好な住宅地として整備するため、日常生活に必要な上水道・ガス施設を整備する。基幹事業である道路、下水道、無電柱化等の工事と並行して上水道・ガスの本管を敷設し、住みよい生活空間の形成を図る。



▲住宅地（整備後）

情報収集・専門家の派遣

見附らしい特色ある住宅地を整備する上で必要となる技術アドバイス等を受けるため、大学教授等の専門家に意見を求める。

計画策定プロセス

第4次見附市総合計画・都市計画マスタープラン

見附市では、有識者や市民代表等を交えた委員会により、第4次見附市総合計画、都市計画マスタープランを策定している。

第4次見附市総合計画においては、空の広さや緑の豊かさなどが実感できる、ゆったりとした住環境を創出し、首都圏等の住民が移り住みたくなるまちづくりを進めると明記されている。

また、都市計画マスタープランにおいては、交通利便性の高い地域等にゆとりと潤いがある良好な住宅地の形成を図り、定住人口の維持増加に向けた住環境の整備を図ると明記している。

今回、交通利便性の高い柳橋地区において、緑豊かで特色のある見附らしい住宅地を整備することで、計画の実現を目指すものである。

都市計画決定

平成23年には今回住宅地を整備する柳橋地区を市街化区域に編入し、隣接する既存住宅地との整合性を勘案し住居系の用途地域を指定した。また、同時に緑豊かで良好な住宅地の形成を趣旨とする地区計画も策定している。

プロジェクト エコシティ 街づくりディスカッション

日経BP社等が主催し新しい街づくりを検討するプロジェクト「プロジェクト エコシティ」の一環として、有識者、企業が集い、柳橋地区の住宅地を先例のない魅力的な街にするための検討会を実施した。



▲都市計画決定に係る都市計画審議会の様子



▲街づくりディスカッションの様子